



ISO認証取得事業名
指定介護老人福祉施設
ショートステイ・ケアハウス



(1)

GREEN HOME MIKI

グリーンホーム三木

第34号

はっぴい通信

発行日 平成28年9月15日
発行者 社会福祉法人優和福祉会

発行責任者 加藤 優子

指定介護老人福祉施設

ショートステイ・ケアハウス

グループホーム 三木

居宅介護支援事業所

養護老人ホーム 優和福祉会 さつき園

三木市与呂木683-397

TEL 0794-86-1212

FAX 0794-86-0710



ジェラートを食べに行ったお店で満面の笑み

朝礼のワンポイント・レッスンから(31)

『部分と全体を同時に思考する能力(大局観)』

社会福祉法人優和福祉会
精神科医師 加藤 武男

マルティン・ハイデッカー(1889-1976)は、有名な『存在と時間』を書いた実存主義哲学者です。彼は、アドルフ・ヒトラー(1889-1945)と強い信頼関係にあり、ヒトラーが死んだ1945年までは、ヒトラーの精神的支えであり続けたとのことです。ヒトラーの死後、彼は30年長生きし、反省し、次の事に気が付いたのです。それは、ヒトラーは『部分と全体』を見る能力に欠けていたという事です。そこで、次の内容が現実的になってくるように思います。

【サッカー場のグラウンドでプレーするプロ選手をイメージして下さい。選手はサッカーボールを常に見守っていると同時に、他の全プレーヤーがグラウンドのどの位置で、どう動こうとしているのか頭の中に一瞬でイメージできなければ、プロ選手ではないと思います。上述の内容から、私は、特に認知症施設における介護スタッフは、常に全利用者が施設のどの位置で何をしているか、見守り、イメージできる能力が必要とされていると考えます。即ち“部分”と“全体”を常に同時に思考する能力が要求されている事であると思います。】

リスクマネジメントの一つとしてこれが出来ないと、大きな事故が4~5年に1回起こる確率が高くなると思います。それは、これからの時代(特に現在)では、介護にかかる施設存続の危機にも繋がる大きな問題となると思います。もっと大きな意味では、大局観が必要であるという事です。大局観のない人がリーダーにつくと、その施設は危機に陥ると言っても過言ではないと思います。

-合掌-

グリーンホーム三木の楽しい行事!



みんなで元気に体を動かせました!!



グリンピック

介護の出前講座

7月15日に三木東高校へ介護の出前講座に行きました。介護職に必要な・Head(冷静な頭)・Hand(専門的技術)・Heart(あたたかい心)の3つのHを説明し、その後自分の性格の傾向を「自己覚知」してもらうための性格テストや、楽技介護の実技等を行い、特別養護老人ホームの一端を理解してもらえたように感じました。

後日、講座に参加した生徒さんが優和福祉会夏祭りにボランティア参加して下さり、夏祭りを盛り上げて頂きました。



三好春樹氏を招き園内研修!!

生活相談員補 松本 安代

今回の研修の中で、三好先生の体験談など様々なお話を聞きすることが出来ました。その中で、「介護者は考える杖である。この杖を、使いこなすのは高齢者です」と話されていました。杖のような介護者になる事で、利用者様にとって、良い介護者になる事が出来るのだと感じました。また、「個別性がないと良い介護とは言えない」とのお話から、利用者様に使いこなして頂ける杖のような介護者となる為に、お話の中にもあった個別性や主体性を大切にして、これからも介護していくたいと思います。





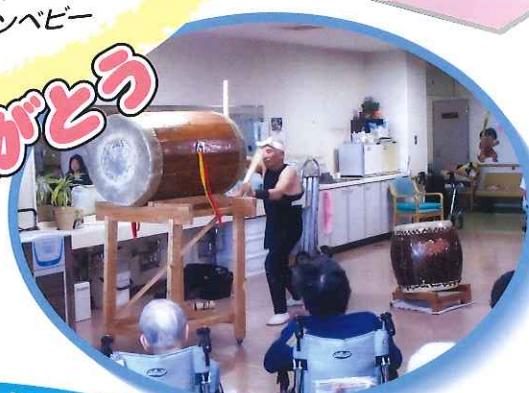
お茶お花(MOA)様



そよかぜ 様



ブルーリーフ 様



安井太鼓 様

ボランティア、ふれあい訪問

- ・赤木久子・森本克彦
- ・谷畠昌子・上山口良子・袴田清子
- ・十倉佐代子・氏丸多恵子・藤田とくえ・川北興二
- ・寺本重子・チームSR・ボランティアクラブ365
- ・三木東高校・うれしの大学・おしゃれキャット
- ・髪ステーション・和太鼓友好会・安井太鼓・与呂木有志(盆踊り)
- ・お茶お花(MOA)・そよかぜ・みなぎの太鼓・BLENDY
- ・福祉体験館・ナリコマエンタープライズ
- ・ライズメディコ・ダスキン・サンベビー
(敬称略・順不同)

いつもありがとうございます

雪まつりにご協力ありがとうございました



ボランティアクラブ365 様



BLENDY 様



みなぎの太鼓 様



三木東高校ボランティア 様

ご厚志ありがとうございました

- ・中井真知子・市位清・橋本由紀夫・上田信昭・藤根一二三
- ・高田みどり・与呂木自治会・さざんかの郷・青葉台・サンベビー
- ・神戸医師協同組合・しゅうらく苑・りんどうの里
- ・ナリコマエンタープライズ・第一電子・但馬銀行
- ・ダルマヤ・明治(敬称略・順不同)



グループホーム「ゆうわの家」から

開設記念バーベキュー

5月27日に第11回ゆうわの家開設記念バーベキューを開催しました。今年も大勢のご家族様にお越しいただき、共に楽しいひと時を過ごす事が出来ました。有難うございました。



グループホーム運営推進会議について

5月27日・7月20日に運営推進会議を開催しました。委員の皆様からのご意見を毎日の生活に反映させ、また地域住民の一員として皆様と交流を深めていけるよう頑張ってまいります。(9月は21日に開催予定)

認知症高齢者グループホーム第三者評価(調査)

WAM NETに「認知症高齢者グループホーム外部評価情報」として公表されていますので下記の要領でぜひご覧下さい。H28.4に評価を受けました。

WAM NETホームページ <http://www.wam.go.jp/> のメニュー欄の「開示情報」をクリック

↓
「認知症グループホーム評価」をクリック 「名前でさがす」で「兵庫県 ゆうわの家」と入力して下さい

新任職員紹介

● 趣味



● 好きな言葉

さつき園事務員
頬藤 みゆき

● DIY

● やらない後悔
よりもやる後悔

介護職員

西 寿美

● 韓流ドラマ鑑賞

● 意志のあるところに
道は開ける



介護職員

丸岡 清美

● 旅行・買い物・読書

● 一期一会



勤続10年職員表彰者

- ・山口 勇介
- ・登野原 将太

勤続5年職員表彰者

- ・藤田 哲也
- ・松本 安代

資格取得者

- ・介護福祉士
・山本 晃史
- ・野村 陽介

優和福祉会 行事予定

(10月～29年3月)

10月 収穫祭

11月 紅葉狩り

12月 クリスマス会
もちつき

1月 初詣
新年祝賀会

2月 節分豆まき

3月 ひな祭り

ケアハウスから



回転寿司に行きました

◆ケアハウス新入居者様より

・何もわからない事ばかりですが、皆さんよろしくお願ひします。

今年も素敵なハグありがとうございます

「義母が入所中はお世話になりました。今年無事三回忌を法要することが出来ました。バザーのお役にたてばと思います。」

— 山城 敏子様 より —

ミシンの寄贈ありがとうございます

青葉台の神吉様より、
ミシンを頂きました。
大切に使わせて頂きます。



タオルの寄贈ありがとうございます



三木地区老人クラブ
女性部より
タオルを寄贈して
頂きました。
ありがとうございました!

第2回 介護実践取り組み事例報告会

平成28年6月14日の優和福祉会創立18周年記念祝賀会の中で『介護実践取り組み事例報告会』を開催しました。

この報告会は、優和福祉会の特別養護老人ホーム各介護グループ、ケアハウス、グループホーム、養護老人ホームから日頃の介護実践を報告するもので、特別養護老人ホームの3グループ、グループホーム、ケアハウス、養護老人ホームの合計6グループがエントリーしました。各グループは、それぞれパワーポイントで報告を行い、厳正な審査を経て最優秀賞と優秀賞が決定し、トロフィーと賞金が贈られました。

介護実践取り組み事例報告会目的

日常の介護実践や利用者及び家族に向けて実施した内容などの事例報告会を開催し、優秀な実践報告は審査を経て表彰することで、今後の法人内各施設の業務の向上と充実に資することを目的とします。



優秀賞

午後の小さな健康運動

～リハビリ体操や脳トレの取り組み～

◆ケアハウス

報告者:足立 みゆき

共同報告者:岡 明美



最優秀賞

介護現場で起こる夜間の問題行動とその対応 ～K様との関わりを通して学んだこと～

◆特養(ひまわり) 報告者:山本 晃史

○課題 夜間落ち着いて休んで頂くには どうしたらよいか

- ・色々な認知症に伴う行動・心理症状が見られる。
- ・徘徊・トイレ以外での排泄、床で寝る等。

○具体的取組

- ・時間ごとに行動や精神的な状態の変化を観察し、細かく記録する

○成果

- ・精神的に落ち着く時間がある事が分かった。
- ・その時間に居室に入って頂くと、夜間良く休まれる事が増加した。
- ・足浴も効果があり、精神的に落ち着きのない時は足浴を行う。
- ・夜間休んでいるので、日中の活気が出てきた。

平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

社会福祉法人優和福祉会

一事業報告総括

総施設長 加藤 優子

介護保険制度の発足後15年が経過しました。平成27年は、介護報酬が大幅にダウンしました。特に特別養護老人ホームは、財源上の問題からか、昨年より多床室の基本サービス料の引き下げで過去最大のダウンとなりました。重度化が進む中入院利用者が増えて来ている現状から、稼働率が低下しないよう早期発見、早期受診の努力を職員一丸となり取り組んだ年がありました。

当法人としては、「介護の質の向上」を目指し人材育成に取り組みました。法人内各施設の業務の向上と充実に資することを目的として、様々な取り組みを行い法人内の連携を図る事ができました。園内研修では昨年より、法人内で介護実践取組み事例報告会を開催し、プレゼンテーション・審査を経て優秀な実践報告を表彰しました。更にグループホーム全国大会への発表にも繋げることができました。

ISO9001は、初回2006年取得以来外部審査の継続と、内部監査を通して施設内情報連絡体制の強化・規則・法令順守と利用者自立支援のための最適な基盤づくりを継続実践しました。グリーンホーム三木では、25年11月より兵庫県式24時間サポートLSA高齢者見守りサービスを実施し微力ながら徐々に活動継続に繋げることができました。

【平成27年度収支決算書】

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部	金額
流動資産	255,637
固定資産	1,361,717
基本財産	833,112
その他の固定資産	528,605
資産の部合計	1,617,354
負債の部	
流動負債	41,802
固定負債	24,445
負債の部合計	66,247
純資産の部	
基本金	195,525
国庫補助金等特別積立金	350,600
その他積立金	489,000
次期繰越活動収支差額	515,982
(うち当期活動収支差額)	46,683
純資産の部合計	1,551,107
負債及び純資産の部合計	1,617,354

資金収支計算書

(自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	金額
事業活動による収支	
事業活動収入	512,158
事業活動支出	447,874
事業活動資金収支差額	64,284
施設整備等による収支	
施設整備等収入	0
施設整備等支出	16,159
施設整備等資金収支差額	△ 16,159
その他の活動による収支	
その他の活動収入	500
その他の活動支出	10,500
その他の活動資金収支差額	△ 10,000
当期資金収支差額合計	38,125
前期末支払資金残高	186,210
当期末支払資金残高	224,335

事業活動収支計算書

(自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	金額
サービス活動収支の部	
サービス活動収入	508,229
サービス活動支出	463,136
サービス活動収支差額	45,093
サービス活動外収支の部	
サービス活動外収入	3,929
サービス活動外支出	2,332
サービス活動外収支差額	1,597
経常増減差額	46,690
特別増減の部	
特別収益	0
特別費用	7
特別増減差額	△ 7
当期活動増減差額	46,683
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	479,299
当期末繰越活動増減差額	525,982
取崩積立額	10,000
次期繰越活動増減差額	515,982

グリーンふれあい祭を開催します!!

～ふれあいバザー・介護技術講習会・焼きいも 等～

- 日 時：11月23日(水・祝) 14:00～16:00
- 場 所：グループホームゆうわの家 1F地域交流室

こんにちは さつき園 です

お花見



お花見では、弁当を屋外でいただきました。

夏まつり



夏まつりでは、カラオケ大会を開催し日頃の練習の成果を披露しました。



春の遠足では回転寿しにいきました。

さつき園行事予定(10月~29年3月)

- 10月 お茶会
- 11月 秋の遠足
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年祝賀会・初笑いカルタ大会
- 2月 節分豆まき
- 3月 ひな祭り

編集後記

いかがでしたか。創立記念祝賀会に開催する「介護実践取り組み事例報告会」も2回目をむかえ、各部署共に年間を通じてより良い介護に向けて取り組み、発表を行いました。この取り組みが、園内での発表に留まらず、外部での発表に繋がるように頑張っていきたいと思います。

編集委員一同



社会福祉法人 優和福祉会の理念

『愛情と根気と忍耐』『母なるやさしさ』を理念とし、利用者の尊厳を損なうことなく、個々の能力を生かすことができるよう、援助しながら生活の質の向上を図ります。